

令和4年度 第2回 賀茂地域医療構想調整会議 議事録

日 時：令和5年2月27日(月)

午後7時40分～8時00分

(WEB開催)

○議 題

1 公立病院経営強化プランの策定状況（下田メディカルセンター）

- ・県内の各公立病院は2023年度までに公立病院経営強化プランを策定し、地域医療構想調整会議で協議し、令和5年度末までにまとめることとなっている。
- ・今回、総務省が実施した事前調査に対して下田メディカルセンターが提出した計画について、伊藤委員が説明した。
- ・近隣の医療機関との連携を強固にし、地域包括ケアの構築に向け、研究啓発に取り組んでいる。
- ・病院診療科の連携体制の構築、医療機器の共同利用に取り組んでおり、今後更に取組を進める。
- ・医師の働き方改革についても、鋭意取り組んでいる。
- ・新興感染症への平時の取組については、感染拡大を想定し専門人材、特に認定看護師の育成を進めていく。

【意見】

竹内アド バイザー	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の多い地域ですので、特に医療と介護の連携が非常に重要である。シズケア*かけはしの使い勝手が悪いとの指摘があったが、具体的な課題と改善策を教えてください。 (回答) <ul style="list-style-type: none">・夜間に対応ができていない、患者にリアルタイムで対応できていない。
--------------	---

2 病棟編成について（下田メディカルセンター）

- ・回復期機能に係る病棟編成について、3B病棟の33床を、賀茂地域のニーズに合わせ、「回復期リハビリテーション病棟入院料」から「地域包括ケア病棟入院料2」に変更する。
- ・変更後は、受入対象疾患が限定されないため、患者の増が見込める。

【意見】

小田委員	<ul style="list-style-type: none">・伊豆今井浜病院でも、4～5年前に、下田メディカルセンターと同様に回復期の病棟を「地域包括ケア」に変更した。・「回復期病棟」というのは、疾患が限定されるが、「地域包括ケア病棟」の方が、あらゆる疾病を受け入れることができるため、良い選択であったと思う。
------	--

3 「介護医療院」への転換（下田温泉病院）

- ・令和4年12月4日付けで、「介護療養型医療施設」60床を「介護医療院」60床に転換した。
- ・本来は賀茂地域医療構想調整会議に報告し、協議していただく必要があったが、事後報告となってしまう申し訳なかった。
※委員から特に意見はなかった。

○報告

次の1～5について事務局から、それぞれ資料に基づき報告し、情報共有を図った。

- 1 非稼働病床の再稼働計画
- 2 外来機能報告の開始時期の延期
- 3 地域医療介護総合確保基金
- 4 医療機能情報提供制度における全国統一システムの稼働

○その他

地域医療構想の実現に向けた医療機能分化・連携支援事業
県医療政策課から、資料に基づき、制度の説明を行った。